

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 ☎763-5110  
会長 成田良治  
幹事 鷲野義明  
会報委員長 杉浦比左夫

No. 2

ロータリーを高めよ!

思いを尽くし熱意を尽くし!

1990~91年度 RI会長 パウロ V.C. コスタ

第392回例会 平成2年7月10日(火)晴 友愛の日

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 67名 出席 52名  
出席率 77.61%  
前回 7月3日 (修正出席率)95.52%

◇ ビジター紹介 6名

◇ お誕生日祝福

鷲野君 (7/11)、渡辺夫人 (7/12)

◇ ニコボックス

杉浦 比左夫君、谷口 暢宏君 ホームクラブになかなか出席できず、御迷惑をかけます。管原 宣彦君 おそまきながら成田会長はじめ理事のみなさんの一年間のご努力に敬意を表して。

山本 真輔君 ホームクラブ御無沙汰しました。日展審査員になりました。2度目です。水野 民也君 先週欠席、本年もよろしく。笹野 義春君 早退させていただきます。

鷲野 義明君 誕生日祝い。

渡辺 辰夫君 夫人誕生日祝い。

◇ 成田会長挨拶

南米ペルーに新大統領が誕生!!

日系二世のアルベルト・フジモリ氏である。日系人としては世界で初めて、大統領として、当選を果たした。このニュースが入ったとき、私としては、“やった”と心の中でさげんでいた。一日中ウキウキした、実にさわやかな感じがして、それはあたかも、オリンピックで、日の丸をあげたときの感動と同じようなものがあった。むしろそれ以上のもっと大きな感激を受けたと云っていいかも知れません。

そのフジモリ氏が「60年前、故郷を離れた移民の子が大統領として帰って来た」と云って来日した。

かつて日本からの移民を受け入れたペルーでは、長い軍政時代の後遺症からか、失業、貧困、インフレに苦しみ、国民経済は破綻寸前である。全労働人口の30%しか定職を持っていないと云われているペルーの就業者の平均月収35ドルは、日本円に換算すると、わずか、5,200~5,300円位である。この金額さえあまりにも低すぎる収入と思われるものの、これ以下の生活者がたくさんいるという事である。全国民の収入のうち、43%が10%の上層階級、全人口の20%の下位層の収入はわずか2%と云われている。(世界銀行の報告)

貧困からの脱出、その為の経済開発、その開発のカギとなる資金援助を日本に求めるために訪日したのである。

それに対し日本政府の対応は冷たいと私には思われたし、新聞等にも、“日系大統領だからと云って特別に援助する必要はない”とか“同情で援助するべきでない”とか云われていますが、私としては日系人だから、日系の大統領だから、尚更、援助の手を差しのべるべきではないかと思う。世界には、日本人が、日系人が多く住んでいます。その人達が各国に於いて信頼を得るためにも、祖国日本が、日本人が、援助、協力の手を差しのべるべきである。日本が世界各国に住んでいる日本人を通して、日系人を通して、援助、協力、奉仕活動をする事が、国際理解に非常に役立つものと思われる。今がそのチャンスである。

「冷たくもなかったが、温かくもなかったぬるかった。」とフジモリ氏は日本語で話されたが、今回の訪日の際は「日本は温かい国でした。」と云われることを希望するものである。

\*\*\*\*\* 友愛の日 \*\*\*\*\*

ごあいさつ

「一期一会」の思いを尽くして

ガバナー 中村 繁 男

クラブ会長および幹事の皆さん。各クラブロータリアンの皆さん。

私は7月1日が来るたびに、新しい年を1年に2度持つことの出来るのが、ロータリアンの特権であることに、大きな喜びを感じます。すなわち暦の上の新年と、ロータリーの新年度の2回であります。人間はだれも、年末には1年間に直面した悪いことを忘れてしまい、新年度には何かよいことばかりが起りそうな希望を持ちます。ロータリアンが2回新しい年を持つことの意味は、反省の上に立って、前進するための中継点を認識することにあります。

「逝くものは斯くの如きか、昼夜を<sup>お</sup>かかず」——井上靖氏はその著「孔子」の中で、「過ぎゆくものはみな、この川の流れの如きものであろうか。昼も夜もとどまることはない。人の一生も、一つの時代も、人間が造る歴史も、次々に流れ、流れ降って行って、とどまるところを知らない。このような時々刻々、うつろいゆく現象<sup>すがた</sup>には、言い知れぬきびしさが漂っているが、それにしても川の流れは、流れ流れて、あの大海へと流れ込んでゆくではないか。それと同じように、人間が造ってゆく人間の歴史の流れもまた、人間が太古から夢みている平和な社会の実現へと、いつかは繋がってゆかぬ筈はない」と解説しています。約2千5百年前の思想家の言葉として、まことに鮮かであり、今日私どもが経験して来たことが、同じようなことの繰返しにすぎなかったことを教えています。ポーランド、ハンガリー、

そしてソ連邦にもロータリークラブが出来たということ。「逝くものは斯くの如きか」と何回も反芻している次第です。

さて、私達の年度のはじまりにあたり、私は「過去を振り返ってみる必要はあるけれど、後ろ向きになってはいけない」ということを肝に銘じ、新しい時代にかなうロータリーを考えるよう皆さんに要請します。また「一期一会」の思いを尽くして、公式訪問をはじめとする諸会合に臨んで頂きたいと念じております。例えば、今日の例会は決して先週の例会の繰返しではありません。生涯にただ一度のものという心がまえこそ、例会を盛り上げ、ロータリアンの存在感を高めることにつながってゆくものと信じます。

ロータリーが他の友好諸団体と比べ、より国際的であることは言うまでもありません。ロータリー財団をはじめ、数々のポータレスなプログラムが進行しつつあります。ポリオ・プラスはロータリーの奉仕が、地球上からもろもろの病気を一掃することを目標にしています。ロータリーがより国際的であることを、各クラブのリーダーは再認識すべきであります。日本の国際化という言葉はもう時代遅れとなり、グローバルという言葉にとってかわられる世の中です。私達のクラブも世界の変動についてゆくよう努力しなければなりません。

1年間、私とともに「ロータリーの真価を高めること」にお力をお貸しください。

◇例会変更のお知らせ

- 名古屋中 R C 7/23(月)第1回F.S.M.の為、  
八勝館にてPM6:00より  
名古屋名北 R C 7/25(水)F.S.M.の為、  
PM5:30より  
豊山一城北 R C 7/31(火)夜間例会の為、  
PM6:00より

◇次回例会(7月17日)

地区協議会報告

◇次々回例会(7月24日)

- 講演 “建設コンサルタント”  
会員 松島 孝彰 君  
講演 “私の職業”  
会員 白井 基久 君